

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 - 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテー	21年度の取り組み行動計画
社会福祉法人 恩賜財団 母子愛育会	2,3,4,18,19,22 ,23,24,28,29,3 4,43,44,47,50 ～64,66,67	母子保健・福祉従事者対象研修会 「発達障害児の早期発見と支援」「子どもの心の診療医研修会」「周産 期医療研修会」等 目的・内容＝母子保健・福祉従事者の資質向上 対象者及び対象者数＝保健師・助産師・看護師・医師・保育士・検査 技術者等 1,350名 開催数(配布数)＝20回 効果＝母子保健従事者の資質向上	2,3,4,18,19,2 2,23,24,28,29 ,34,43,44,47, 50～ 64,66,67	母子保健・福祉従事者対象研修会「発達障害児の早期発見と支援」 「子どもの心の診療医研修会」「周産期医療研修会」等 目的・内容＝母子保健・福祉従事者の資質向上 対象者及び対象者数＝保健師・助産師・看護師・医師・保育士・検 査技術者等 1600名 開催(配布)予定数＝20回
		情報提供 目的・内容＝ウェブサイト「愛育ねっと」、「母子保健情報」の発行(年2 回)、「日本子ども資料年鑑2009」の編集 対象者及び対象者数＝子ども家庭福祉関係の機関、研究者等、母 子保健関係の機関、研究者等		情報提供 目的・内容＝ウェブサイト「愛育ねっと」、「母子保健情報」の発行(年 2回)、「日本子ども資料年鑑2010」の編集 対象者及び対象者数＝子ども家庭福祉関係の機関、研究者等、母 子保健関係の機関、研究者等
	15	愛育幼稚園における高校生との交流 目的・内容＝幼稚園児と男子高校生(1年生)の世代間交流 対象者及び対象者数＝園児150名、高校生300名	15	愛育幼稚園における高校生との交流 目的・内容＝幼稚園児と男子高校生の異世代交流 対象者及び対象者数＝在園児 150名、高校生 300名
財団法人家庭保健生活指 導センター		リーフレット「女性のための健康ガイド」 目的・内容＝思春期から更年期の女性を対象に女性保健の啓発普 及を行った。 対象者及び対象者数＝市町村、産婦人科病医院に配布 開催数(配布数)＝92万部 効果＝女性の生涯にわたる健康づくりに大いに役立った。		リーフレット「女性のための健康ガイド」 目的・内容＝思春期から更年期の女性を対象に女性保健の啓発普 及を行った。 対象者及び対象者数＝市町村、産婦人科病医院に配布 開催(配布)予定数＝92万部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 - 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
日本子ども健康科学会 (子ども心・体と環境を考える会)	5,13,15	研究会誌「子どもの健康科学」第9巻1号発行 目的・内容＝第9回学術大会の講演やシンポジウム(「人類史上初めて経験するアレルギー疾患の急増が意味するものは」、「現代文明がもたらした危機的な子どもの生活習慣」、「グローバル化する競争社会に生きる子ども達の健やかな発達のために」)について演者が論文化した研究会誌を作成 対象者及び対象者数＝本会会員(医療・教育・福祉・その他の多分野に及ぶ)に配布。一部の図書館に謹呈 開催数(配布数)＝350部を発行、配布 効果＝学術大会で報告された見地や知見を、学会誌の形で広く伝達することができた。	15,16	テーマ別研究会の開催 目的・内容＝平成21年10月頃第7回を開催予定。 対象者及び対象者数＝本会会員と非会員。医療・教育・福祉・その他の多分野から、各回50人の参加を見込んでいる 開催(配布)予定数＝1回
	7,15	研究会誌「子どもの健康科学」第9巻2号発行 目的・内容＝第6回テーマ別研究会(「わが国におけるタバコの広告、販売促進及び後援(スポンサーシップ)の実状－青少年の喫煙開始防止対策を阻害するもの－」、「禁煙環境の実現に向けての活動」、「包括的アプローチ(薬物療法・認知療法・行動療法を含む)による禁煙のコミュニティ支援」)について、演者が論文化した研究会誌を作成 対象者及び対象者数＝本会会員(医療・教育・福祉・その他の多分野に及ぶ)に配布。一部の図書館に謹呈 開催数(配布数)＝350部を発行、配布 効果＝テーマ別研究会で報告された現場での実践や見地を、学会誌の形で広く伝達することができた。	15,16	第11回学術大会開催 目的・内容＝平成21年12月12日(土)・13日(日)津田彰大会長(久留米大学文学部心理学科 教授)の下で開催予定。テーマは「未定」。シンポジウム・招待講演を企画し、一般演題も募集する 対象者及び対象者数＝本会会員と非会員。医療・教育・福祉・その他の多分野から、のべ300人の参加を見込んでいる 開催(配布)予定数＝1回
	15,16	第10回学術大会開催 メインテーマ:「今、子どもたちの輝きを求めて」 目的・内容＝平成20年12月6(土)～7日(日)。横田雅史大会長(愛知県みずほ大学人間科学部教授)の下で開催。シンポジウム2つ、会長講演1つ、記念講演1つ、ランチョンセミナー2つ、一般演題15題、市民公開講座等が行われた。 対象者及び対象者数＝本会会員に加え、非会員も参加。医療・教育・福祉・その他の多分野に及び、のべ100人程が参加した 開催数(配布数)＝1回 効果＝子どもたちを取り巻く環境、生活習慣等について、学校、医療、家庭、社会のあり方、などについて活発な意見交換が行われた		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 - 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
(財)性の健康医学財団	3,10	第8回性の健康週間(平成20年11月25日～12月1日)ポスター 目的・内容＝若い人たちの性感染症予防のために、性の健康医学思想の普及啓発を集中的に行う。 対象者及び対象者数＝国、各自治体、保健所、関係団体 開催数(配布数)＝1,000部 効果＝性感染症予防の意識を高め、関心を集めた。	3,10	第9回性の健康週間(11月25日～12月1日)ポスター 目的・内容＝性感染症予防のために、性の健康医学思想の普及啓発を集中的に行う 対象者及び対象者数＝国、都道府県、政令市、保健所および関係団体 開催(配布)予定数＝年1回配布
	3,10	第8回「性の健康週間」市民公開講座 目的・内容＝若い人たちの性感染症予防のために、性の健康医学思想の普及啓発を集中的に行う。 対象者及び対象者数＝教育・保健・医療関係者、一般市民等、70名 開催数(配布数)＝1回開催(12月1日、神奈川県ラゾーナ川崎プラザソル) 効果＝性感染症の現状とそれに対する教育・保健関係者の取るべき対策について理解を深めた。	3,10	第9回性の健康週間市民公開講座 目的・内容＝性の健康に関する啓発活動を推進し、性感染症予防に貢献する。 対象者及び対象者数＝一般市民 開催(配布)予定数＝年1回開催
	3,10	個別面接相談・検診「性の健康相談室」 目的・内容＝性感染症についての相談、啓発、検診を通してSTD/HIV感染の発見・予防啓発に努め、感染の蔓延防止に貢献する。無料・匿名。 対象者及び対象者数＝ホームページの案内や保健所の紹介により来訪した39歳以下の男女。70名(男性30名・女性40名)／年 開催数(配布数)＝週1回程度実施 効果＝性感染症で医療機関を受診することが高いハードルとなっている若い人たちの受け皿となり、性感染症の発見・予防啓発に貢献できた。	3,10	専門医による匿名、無料面接相談・検査「性の健康相談室」 目的・内容＝性の悩みや性感染症についての受診の勧誘、相談、検診、啓発を通してSTD/HIV感染の発見・予防啓発に努め、感染の蔓延を防止する。 対象者及び対象者数＝39歳以下の男女。 開催(配布)予定数＝週1日程度実施

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	3,10	Eメールによる「性の健康相談」 目的・内容＝ケータイ世代といわれる若い人たちが手軽に利用しやすいEメールによって性や性感染症の悩みに対応し、悩みや問題を明確化し、効果的な性感染症の予防啓発の方法を検討する。 対象者及び対象者数＝ホームページ、メッセージカード、リーフレットの案内によりEメールを送信した相談者。612件／年 開催数(配布数)＝常時 効果＝相談者への適切な助言・指導を行うことにより、今後の性感染症の予防啓発活動遂行上提供すべき情報を明確化できた。	3,10	「若者のための性感染症情報ネット Hの病気」による情報提供 目的・内容＝ホームページ(PCおよび携帯サイト)により青少年に性感染症予防のための情報を提供する。 対象者及び対象者数＝青少年等若年層 開催(配布)予定数＝常時
	3,10	性感染症相談事業 目的・内容＝性感染症の感染に関し、不安のある人々からの電話相談等に応じ、社会的・精神的不安の軽減を目的とする。 対象者及び対象者数＝ホームページ、メッセージカード、リーフレットの案内等による相談電話1,507件／年 開催数(配布数)＝月～金曜日の12時から17時 効果＝適切な助言・指導を行うことにより、性感染症に関して不安をもつ人々の不安の軽減に役立った。	3,10	「性感染症」相談(電話相談・Eメール相談) 目的・内容＝性感染症への不安を持つ人からの電話相談、Eメール相談に応じ、その社会的・精神的不安の軽減に努める。 対象者及び対象者数＝一般市民 開催(配布)予定数＝週5日実施
	3,10	青少年の性感染症予防のための情報提供事業 目的・内容＝平易な言葉で若者世代へ性感染症予防に関する情報を提供することを目的とする。 対象者及び対象者数＝「若者のための性感染症情報ネット Hの病気」アクセス数23,000件／年 開催数(配布数)＝常時 効果＝若い人々に正しい性感染症予防情報を提供できた		
全国助産師教育協議会	2.3.9.10 「思春期の保健対策の強化と健康教育の推進」に関する助産師教育の検討	後援事業:指導者のための避妊と性感染症予防セミナー(主催:日本家族計画協会) 目的・内容＝避妊と性感染症に関する最新情報をどう伝えていくか授業形式で展開する。 対象者及び対象者数＝保健師・助産師・養護教諭他、全国助産師教育協議会会員 開催数(配布数)＝8回/年 効果＝助産師教育関係者のそれぞれの教育の現場において認識を高め活用することができる	2.3.9.10 助産師教育内容の検討	全国助産師教育協議会総会の開催 平成21年6月5・6日(日本赤十字看護大学武蔵野キャンパス) 目的・内容＝「思春期の保健対策の強化と健康教育の推進」に関する助産師教育の検討 含 対象者及び対象者数＝全国助産師教育協議会機関会員116校、個人会員354名 開催(配布)予定数＝1回/年

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
			2.3.9.10 助産師教育内容の検討	全国助産師教育協議会 第35回研修会 目的・内容＝講演、シンポジウム等 対象者及び対象者数＝会員・非会員・学生延べ≒200名 開催(配布)予定数＝1回/年
			2.3.9.10 助産師教育内容の検討	ニュースレター発行(63号～66号) 目的・内容＝関連記事の掲載 対象者及び対象者数＝全国助産師教育協議会機関会員校、個人会員 開催(配布)予定数＝4回/年、発行部数1000部
全国保健所長会			29	低体重児出生関連要因分析に関する基礎的検討 目的・内容＝全国的に(超)低体重児の出生が増加している。これに伴い、障害児の増加が社会的な課題となっているため、低体重児出生関連要因について記述疫学的検討を行い、仮説を設定し、仮説を検証するための研究方法について検討を行い、研究の企画を立てる。＝
社団法人全国保健センター連合会	16,52,63	食生活リーフレットの制作配布 1もぐもぐごっくん2おなかすいた3ごはんまだ 目的・内容＝乳児期、1～2歳、3歳からの食生活リーフレットを制作配布して、段階に応じた食生活のポイントやヒントを紹介する。 対象者及び対象者数＝乳幼児を持つ家庭 配布先：市町村保健センター 開催数(配布数)＝180,000部 効果＝両親学級、新生児訪問、育児相談等で利用され、広く一般に知識普及がされた。	16,52,63	食生活リーフレットの制作配布 1もぐもぐごっくん2おなかすいた3ごはんまだ 目的・内容＝乳児期、1～2歳、3歳からの食生活リーフレットを制作配布して、段階に応じた食生活のポイントやヒントを紹介する。 対象者及び対象者数＝乳幼児を持つ家庭 配布先：市町村保健センター 開催(配布)予定数＝180,000部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	33,39,52,54,5 6,57	遊びのリーフレット制作配布 1好き好き大好き2こんなの大好き3ともだち大好き 目的・内容＝0歳児、1～2歳児、3歳児の遊びのリーフレットを制作配布して、親子のコミュニケーションをはぐむ遊び方のポイントやヒントを紹介する。 対象者及び対象者数＝乳幼児を持つ家庭 配布先：市町村保健センター 開催数（配布数）＝580,000部 効果＝両親学級、新生児訪問、育児相談等で利用され、広く一般に知識普及がされた。	33,39,52,54,5 6,57	遊びのリーフレット制作配布 1好き好き大好き2こんなの大好き3ともだち大好き 目的・内容＝0歳児、1～2歳児、3歳児の遊びのリーフレットを制作配布して、親子のコミュニケーションをはぐむ遊び方のポイントやヒントを紹介する。 対象者及び対象者数＝乳幼児を持つ家庭 配布先：市町村保健センター 開催（配布）予定数＝580,000部
全国養護教諭連絡協議会	6,7,8	保健学習研修会 目的・内容＝児童生徒の心身の健康を育む養護教諭の専門的力の向上を目指し、学校保健の充実・発展に寄与する。 対象者及び対象者数＝全国の養護教諭 開催数（配布数）＝年1回開催 効果＝喫煙・飲酒・薬物乱用の防止について、ライフスキル学習を取り入れた保健学習を実践することができた。	6,7,8	保健学習研修会 目的・内容＝児童生徒の心身の健康を育む養護教諭の専門的力の向上を目指し、学校保健の充実・発展に寄与する。 対象者及び対象者数＝全国の養護教諭 開催（配布）予定数＝年1回開催
	2. 3,4,6,7,8,9,10	カウンセリング研修 目的・内容＝児童生徒の心身の健康を育む養護教諭の専門的力の向上を目指し、学校保健の充実・発展に寄与する。 対象者及び対象者数＝全国の養護教諭 開催数（配布数）＝年1回開催 効果＝カウンセリング能力（知識・技術）を保健室における健康相談活動に生かし、思春期特有の悩み等を抱える生徒への支援をすることができた。	2. 3,4,6,7,8,9,10	カウンセリング研修 目的・内容＝児童生徒の心身の健康を育む養護教諭の専門的力の向上を目指し、学校保健の充実・発展に寄与する。 対象者及び対象者数＝全国の養護教諭 開催（配布）予定数＝年1回開催
	課題1全般	養護教諭の職務に関する調査 目的・内容＝養護教諭の職務に関する調査を通して、児童生徒の健康課題解決のため、研究開発と健康教育の推進に資する。 対象者及び対象者数＝全国の養護教諭 開催数（配布数）＝年1回開催 効果＝保健室来室状況から、思春期にある生徒さまざまな健康課題を把握することができた	課題1全般	養護教諭の職務に関する調査 目的・内容＝養護教諭の職務に関する調査を通して、児童生徒の健康課題解決のため、研究開発と健康教育の推進に資する。 対象者及び対象者数＝全国の養護教諭 開催（配布）予定数＝年1回開催

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
日本医師会	11	学校保健委員会を開催 目的・内容＝社会環境の変化に即した、幅広い学校健康教育の実践について検討が行われた。 対象者及び対象者数＝委員：19名 開催数（配布数）＝4回開催	11	学校保健委員会を開催 目的・内容＝学校健康教育の新しい展開について検討 対象者及び対象者数＝委員：19名 開催（配布）予定数＝4回開催予定
	11	平成20年度学校医講習会を開催 平成21年2月21日（土） 目的・内容＝最近の学校健康教育行政の課題について ・学校のアレルギー疾患に対する取り組みについて ・人の命の尊さを理解する ・学校における運動器検診をめぐって 対象者及び対象者数＝日本医師会員である学校医 参加人数：253名 開催数（配布数）＝1回開催 効果＝学校医に学校保健活動についての認識を高めることができた。	11	平成21年度学校医講習会を開催 平成22年2月20日（土） 対象者及び対象者数＝対象：日本医師会員である学校医 参加人数：300人を予定 開催（配布）予定数＝1回開催予定
	11	第39回全国学校保健・学校医大会を開催（新潟県） 平成20年11月8日（土） 目的・内容＝みつめよう子どもの健康と未来 対象者及び対象者数＝都道府県医師会関係者および学校医 参加人数：656名 開催数（配布数）＝1回開催 効果＝学校保健関係者が全国から一堂に会して交流することにより、学校保健・学校医活動の活性化を図ることができた。	11	第40回全国学校保健・学校医大会を開催（広島県） 平成21年11月14日（土） 目的・内容＝地域ぐるみで支え合おう 子どもの健康と安全 対象者及び対象者数＝対象：都道府県医師会関係者および学校医 他 参加人数：650人を予定 開催（配布）予定数＝1回開催予定
			11	学校医活動に関する研究・啓発 目的・内容＝健康教育等の研究 対象者及び対象者数＝対象：学校医
				子ども支援日本医師会宣言 目的・内容＝母と子に関する医療・保健・福祉環境の整備等を推進し、次世代を担う子どもたちが心身ともに健やかに育つようにする

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテー	21年度の取り組み行動計画
社団法人 日本家族計画 協会	1,2,3,4,5,6,7,8, 9,10,15	思春期保健セミナーコースⅠ 目的・内容＝思春期の子どもたちに携わる専門職の方々に、最新情報 の習得と地域ネットワークづくりの推奨を目的としたセミナーの実 施。思春期保健総論。 対象者及び対象者数＝保健師、助産師、看護師、養護教諭、教職員 等 思春期保健に携わる専門職。2会場合計353名。 開催数(配布数)＝東京都、大阪府にて計2回実施。 効果＝思春期保健の総論として、現状と課題を学習することができ た。	2,3,8	講習会「第94回受胎調節実地指導員認定講習会」 目的・内容＝家族計画・受胎調節の考え方及び避妊の実際 対象者及び対象者数＝助産師・保健師・看護師120名 開催(配布)予定数＝1回(東京)
	1,2,3,4,5,6,7,8, 9,10,15	思春期保健セミナーコースⅡ 目的・内容＝思春期保健の各論を学習する。具体的な相談内容や対 応方法についての講義。 対象者及び対象者数＝上記コースⅠ修了者。2会場合計284名。 開催数(配布数)＝東京都、大阪府にて計2回開催。 効果＝思春期保健の各論として、問題点を深く学習することができ た。	2,3,8,9,10,11, 12	セミナー「指導者のための避妊と性感染症予防セミナー」 目的・内容＝人工妊娠中絶の防止と性感染症のために地域と学校 関係者の連携を進める 対象者及び対象者数＝産婦人科医、コメディカル、学校関係者 開催(配布)予定数＝8回(東京都、北海道、宮城県、愛知県、沖縄 県、高知県、福岡県、大阪府)
	1,2,3,4,5,6,7,8, 9,10,15	思春期保健セミナーコースⅢ 目的・内容＝思春期保健の実践を学習する。グループ実習を導入し、 ロールプレイ形式で問題点を解決していく。 対象者及び対象者数＝上記コースⅡ修了者。2会場合計229名。 開催数(配布数)＝大阪府、千葉県にて計2回開催。 効果＝思春期保健の実践として、実習を通して問題点を解決する手 法を学習できた。	2,3,8,9	セミナー「女性のプライマリ・ケアを担う医療者のためのOC実践セミ ナー」 目的・内容＝OC(Oral Contraceptive)の正しい情報と効果的な使 用について習得 対象者及び対象者数＝医師、コメディカル 開催(配布)予定数＝6回(大阪、東京、宮城、大阪、新潟、福岡、北 海道、広島、愛知)
	1,2,3,4,5,6,7,8, 9,10,15	思春期保健セミナー上級コース 目的・内容＝思春期保健セミナーコースⅢ修了者対象の実習中心の セミナー。課題別に、より専門性を深めていただく。 対象者及び対象者数＝上記コースⅢ修了者。64名。(コースⅢ修了 者を思春期保健相談士と認定している) 開催数(配布数)＝千葉県にて1回開催。 効果＝実習中心なので、手法・技法の習得以外に、人脈・ネットワ ークづくりにも役立った。	2,3,4,5,6,7,8, 9,13	思春期クリニック活動 目的・内容＝思春期の子どもたちの精神的・肉体的な健康教育のク リニカル活動 対象者及び対象者数＝思春期の子ども 開催(配布)予定数＝外来 毎週2回(火・金) 毎月1回(土)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10,15	思春期保健相談士学術研究大会 目的・内容＝思春期保健についての最新情報の習得および、活動発表の場。 対象者及び対象者数＝思春期保健相談士等、思春期保健担当者。179名。 開催数(配布数)＝東京都にて1回開催。 効果＝最新情報、具体的な事例発表を知ることができ、今後の活動に活かせた。	2,3,4,8,9,21,2 2,26,29,30	電話相談「女性のための健康ホットライン」「思春期・FPホットライン」 「不妊ホットライン」「OCサポートコール」 目的・内容＝思春期の精神的・肉体的な問題に対する悩み相談及び、一般婦人の健康問題に対する悩み相談 対象者及び対象者数＝思春期の子ども及び一般 開催(配布)予定数＝毎週月～金10:00～16:00
	1,2,3,9,10,15	思春期ピアカウンセリング・コーディネーター養成セミナー 目的・内容＝思春期教育の一環として行う「ピアカウンセリング手法」を用いて事業展開できるコーディネーターを養成することを目的とする。 対象者及び対象者数＝思春期ピアカウンセリング事業に関心のある者。25名。 開催数(配布数)＝東京都にて1回開催。 効果＝ピアカウンセリングの基礎、事例発表、ピアカウンセラーの考え方などを習得できた。	13	「思春期地方クリニック」の運営 目的・内容＝思春期問題全般に関して、全国どこでも相談や診療が受けられるクリニックの設置 対象者及び対象者数＝思春期の子ども 開催(配布)予定数＝全国30ヶ所
	1,2,3,9,10,15	「思春期ピアカウンセラー養成者」養成セミナー(前期・後期) 目的・内容＝「思春期ピアカウンセラー養成者」を養成することを目的とする。 対象者及び対象者数＝受講後、ピアカウンセラーを養成することができる者等。12名。 開催数(配布数)＝東京都にて前期・後期各1回開催。 効果＝ピアカウンセラー養成者となるべく、手法・技法を基礎から実践まで幅広く学べた。	全般	平成21年母子保健・家族計画全国大会(健やか親子21全国大会) 目的・内容＝「健やか親子21」の普及啓発 対象者及び対象者数＝「健やか親子21」の推進関係者 開催(配布)予定数＝静岡県

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 - 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10,15	指導者のための避妊と性感染症予防セミナー～伝えるための技術向上をめざして～ 目的・内容＝学校での性教育がどのように行われているか把握し、地域の思春期保健担当者とのコラボレーションを考える。 対象者及び対象者数＝保健師、助産師、看護師、養護教諭、教職員等 思春期保健に携わる専門職。8会場合計939名。 開催数(配布数)＝愛知県、福岡県、沖縄県、北海道、東京都×2、大阪府、宮城県 効果＝知識や最新情報の習得および、学校と地域との連携が図れた。	1,2,8,12	第6回思春期保健相談士学術研究大会 目的・内容＝思春期保健相談士の最新情報の習得の場であり、また、活動報告を行い、全国ネットワーク化を図る 対象者及び対象者数＝思春期保健相談士及び、医師、学校関係等 開催(配布)予定数＝1回(東京都)
	2,3,9,10,15	母子保健家族計画全国大会(健やか親子21全国大会) 目的・内容＝母子保健・家族計画の功労者を表彰するとともに、全国の母子保健事業担当者が集い、事例や情報を習得する。 対象者及び対象者数＝医師、保健師、助産師、看護師、栄養士など保健、医療、福祉他、母子保健関係者。1,000名。 開催数(配布数)＝福岡県にて1回開催。 効果＝「小さな命 みんなでサポート はぐくもう 未来の日本の主役たち」をテーマに、思春期の現状と課題を把握できた。	2,3,4,5,6,7,8,9,10,13	思春期保健セミナー(Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、上級コース) 目的・内容＝思春期保健相談士の養成セミナー 対象者及び対象者数＝コメディカル、学校関係者 開催(配布)予定数＝6回(Ⅰコース2回、Ⅱコース2回、Ⅲコース1回、上級コース1回)
	2,3,9,10	ユースに贈る 2yearsダイアリー 目的・内容＝10代のこども達の人工妊娠中絶の再発防止のための支援ツール。 対象者及び対象者数＝保健師、助産師等 開催数(配布数)＝市町村、病産院等 効果＝教材の活用により思春期保健に寄与した。	1,2,3,9,10	JFPA若者委員会(U-COM)への活動支援 目的・内容＝思春期問題について、仲間(ピア)の啓発活動により、正しい知識普及を図る 対象者及び対象者数＝24歳までの若者 開催(配布)予定数＝街頭啓発活動、学園祭などでの啓発活動

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10	Do You Know 目的・内容＝10代のこども達の人工妊娠中絶の再発防止のための支援ツール。 対象者及び対象者数＝保健師、助産師等 開催数(配布数)＝市町村、病産院等 効果＝教材の活用により思春期保健に寄与した。	1,2,8,12	セミナー 思春期ピアカウンセリングセミナー(コーディネーターセミナー、ピアカウンセラーセミナー) 目的・内容＝思春期保健の推進には、ピアカウンセリングの手法が効果的であり、その指導者の養成を目的とする 対象者及び対象者数＝指導者の養成者 ピアの養成者 等 学生及びコメディカル 開催(配布)予定数＝3回(東京)
	2,3,9,10	自分の相手を大切にすると？ 目的・内容＝中学生・高校生向け 性教育用視聴覚教材 対象者及び対象者数＝保健師、助産師、看護師、養護教諭、教職員等思春期保健に携わる専門職。 開催数(配布数)＝市町村、病産院等 効果＝教材の活用により思春期保健に寄与した。	1,2,3,4,5,9,10	思春期・FPホットライン 目的・内容＝主として思春期男女を対象とした性に関する電話相談 対象者及び対象者数＝思春期一般 開催(配布)予定数＝毎週月曜日から金曜日の午前10時から午後4時
	1,2,3,4,5,9,10	思春期・FPホットライン 目的・内容＝主として思春期男女を対象とした性に関する電話相談 対象者及び対象者数＝思春期一般 開催数(配布数)＝毎週月曜日から金曜日の午前10時から午後4時。 開設日数244日。相談件数4,794件(男性1,988件、女性2,809件) 効果＝思春期の性の悩みの解決に役立った。	2,3,4,5,9,10,14	思春期婦人科外来の運営 目的・内容＝思春期の女子を対象とした診療活動 対象者及び対象者数＝思春期女子一般 開催(配布)予定数＝毎週火曜日、金曜日、第二土曜日に開設
	2,3,4,5,9,10,14	思春期婦人科外来の運営 目的・内容＝思春期の女子を対象とした診療活動 対象者及び対象者数＝思春期女子一般 開催数(配布数)＝毎週火曜日、金曜日、第二土曜日に開設。開設日数151日、受診者総数1,787人 効果＝思春期の医療的問題の解決に貢献	14	思春期泌尿器科外来の運営 目的・内容＝就学前の男子を対象とした『手術をしない明るい包茎外来』を開設 対象者及び対象者数＝就学前の男子 開催(配布)予定数＝毎月第二土曜日に開設

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	14	思春期泌尿器科外来の運営 目的・内容＝就学前の男子を対象とした『手術をしない明るい包茎外来』を開設 対象者及び対象者数＝就学前の男子 開催数(配布数)＝毎月第二土曜日に開設。開設日数12回。受診者総数101人。 効果＝包茎で悩む男子が多いわが国にあって、親子の悩みの解決に貢献	2,9	低用量経口避妊薬に関する電話相談 目的・内容＝『ピルサポートデスク』『OCサポートコール』 対象者及び対象者数＝一般 開催(配布)予定数＝毎週月曜日から金曜日
	2,9	低用量経口避妊薬に関する電話相談 目的・内容＝『ピルサポートデスク』『OCサポートコール』 対象者及び対象者数＝一般 開催数(配布数)＝毎週月曜日から金曜日。開設日数244日。相談件数7,402件 効果＝低用量経口避妊薬に関する相談に応じることにより、望まない妊娠の防止を図った	2,9	全国緊急避妊ネットワークの運営 目的・内容＝わが国では未承認である緊急避妊ピル処方施設の無料紹介 対象者及び対象者数＝一般 開催(配布)予定数＝全国北海道から沖縄まで加入施設1,500を目標とする。
	2,9	全国緊急避妊ネットワークの運営 目的・内容＝わが国では未承認である緊急避妊ピル処方施設の無料紹介 対象者及び対象者数＝一般 開催数(配布数)＝全国北海道から沖縄まで1,350施設が加入 効果＝緊急避妊ピルの服用が人工妊娠中絶の防止に役立っている。		
財団法人 日本学校保健会	1,3,4,5,6,10,11,12,13,15,16	会報「学校保健」の発行 目的・内容＝学校保健に関する情報提供等 対象者及び対象者数＝幼・小・中・高等学校および盲・聾・養護学校、学校保健関係者、保護者、会員等 開催数(配布数)＝8万5千部(年5回発行) 効果＝今年度から学校保健関係者ばかりでなく、保護者も意識した内容とし、健康教育の広報に効果をあげつつある	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16	会報「学校保健」 目的・内容＝学校保健に関する情報の提供 対象者及び対象者数＝幼・小・中・高等学校および特別支援学校、学校保健関係者、保護者、会員等 開催(配布)予定数＝4万5000部×5回(6, 9, 11, 1, 3月)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
社団法人 日本看護協会	4	日本看護学会 母性看護領域 目的・内容＝母性看護全般を扱う 周産期看護(妊婦・産婦・褥婦・新生児)、女性のライフサイクル(思春期・更年期を含む)、生命倫理、リプロダクティブヘルス、育児ならびに母性・父性に関する研究など 対象者及び対象者数＝看護職、看護学生 定員900名 開催数(配布数)＝2日 効果＝646名の参加	4	日本看護学会 母性看護領域 目的・内容＝母性看護全般を扱う 周産期看護(妊婦・産婦・褥婦・新生児)、女性のライフサイクル(思春期・更年期を含む)、生命倫理、リプロダクティブヘルス、育児ならびに母性・父性に関する研究など 対象者及び対象者数＝看護職、看護学生 定員900名 開催(配布)予定数＝2日
日本公衆衛生学会			14,15,16	第68回日本公衆衛生学会総会 教育講演 ひきこもり、薬物乱用など思春期・青年期の精神保健と相談支援 目的・内容＝ひきこもりはじめ思春期青年期の精神保健への理解と相談支援のポイントを話す。 対象者及び対象者数＝学会総会参加者300人
			5,7,8,11,15,16	日本公衆衛生学会 公衆衛生モニタリング・レポート委員会 目的・内容＝こどもの健康及び児童生徒の危険行動の関連要因を明らかにした上で、これらのリスクにいかに対処すべきかの提言をとりまとめ、社会に情報発信する。 対象者及び対象者数＝第68回総会時フォーラムで発表
社団法人日本歯科医師会	16	「食育推進フォーラム」～よく噛み、味わい、健口長寿～ 目的・内容＝食育における歯科の重要性を国民にアピールし、会員向けアンケートの結果を基に歯科の関わり的重要性を周知を行う。 対象者及び対象者数＝一般国民、歯科関係者(歯科医師、歯科衛生士など)120名 開催数(配布数)＝1回開催(東京都) 効果＝食育における「噛むこと」という歯科の重要性について、認識を高めることができた。		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテー	21年度の取り組み行動計画
日本思春期学会	6,7,8	第27回日本思春期学会学術集会 理事長講演「青少年の健康リスク -飲酒・喫煙から薬物へ-」 目的・内容＝日本における青少年の飲酒・喫煙、続く薬物乱用の実態調査結果から、健康教育のあり方を検討する 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催数(配布数)＝平成20年8月29日～31日		第28回日本思春期学会学術集会 理事長講演「演題検討中」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催(配布)予定数＝第28回日本思春期学会学術集会 平成21年8月28～30日
		会長講演「性の進化とその歴史」 目的・内容＝性教育に関連する知識の一つとして、我々の現在の性行動の形態獲得の歴史を理解する。 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催数(配布数)＝平成20年8月29日～31日		第28回日本思春期学会学術集会 会長講演「演題検討中」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催(配布)予定数＝第28回日本思春期学会学術集会 平成21年8月28～30日
	14	招請講演「親子カンファレンス」 目的・内容＝思春期内科の現在の治療のあり方を説明し、親子カンファレンスの役割について考察する。 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催数(配布数)＝平成20年8月29日～31日		第28回日本思春期学会学術集会 特別講演「演題検討中」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催(配布)予定数＝第28回日本思春期学会学術集会 平成21年8月28～30日
	15	教育講演1「虐待とその連鎖をとめるために－米国のDoula Supportに学ぶ－」 目的・内容＝性虐待や身体虐待抑制の方策として、米国のドゥーラによるサポート活動を紹介、有用性を検討する。 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催数(配布数)＝平成20年8月29日～31日		第28回日本思春期学会学術集会 教育講演1「思春期医療のトピック～産婦人科の視点から～」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催(配布)予定数＝第28回日本思春期学会学術集会 平成21年8月28～30日
	15	教育講演2「今、思春期はどうなっているか」 目的・内容＝思春期という年代の今日的課題を例を挙げて紹介し、思春期問題打開の方策を検討する。 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催数(配布数)＝平成20年8月29日～31日		第28回日本思春期学会学術集会 教育講演2「思春期と精神・心理関連についてのトピックス」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催(配布)予定数＝第28回日本思春期学会学術集会 平成21年8月28～30日

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテー	21年度の取り組み行動計画
		国際シンポジウム「アジアの思春期問題」 目的・内容＝アジア各国における思春期の諸問題の現状報告から、 今後の問題の早期解決、発生防止の一助を得る。 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者な ど 開催数(配布数)＝平成20年8月29日～31日		第28回日本思春期学会学術集会 教育講演3「助産師の行う思春期教育の現状と課題」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者 など 開催(配布)予定数＝第28回日本思春期学会学術集会 平成21年8 月28～30日
		シンポジウム2「思春期の精神発達への支援」 目的・内容＝以下の各観点から議題問題を考察 1 人格の成熟と家族 2 事例提示 3 治療 4 思春期発達論が壊れる 中で、われわれはどのような援助ができるか 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者な ど 開催数(配布数)＝平成20年8月29日～31日		第28回日本思春期学会学術集会 教育講演4「学校保健に関する最近の話題」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者 など 開催(配布)予定数＝第28回日本思春期学会学術集会 平成21年8 月28～30日
	10,15	シンポジウム3「思春期男子の性教育～新しい理論と実践戦略にむけ て～」 目的・内容＝以下の各観点から議題問題を考察 1 男子高校生の性に関する課題と性教育の実践 2 わが国における 男子性教育の歴史 3 男子学生の抽象能力…その家族観・生命観 4 男子における自分の痛み・他人の痛みと共感の最新知見 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者な ど 開催数(配布数)＝平成20年8月29日～31日	10	第28回日本思春期学会学術集会 シンポジウム1「思春期の性感染症の現状と対策について」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者 など 開催(配布)予定数＝第28回日本思春期学会学術集会 平成21年8 月28～30日
	15	プレコンGRESS「思春期の親子関係」 目的・内容＝以下の各観点から議題問題を考察 1 思春期の親子関係への学校の対応 2 子の性成熟に対する親の 対応 3 思春期妊娠例の親子関係と親子への対応 4 思春期の親子 関係と小児・思春期医療 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者な ど 開催数(配布数)＝平成20年8月29日～31日	15	第28回日本思春期学会学術集会 シンポジウム2「思春期のヘルスプロモーションに向けて」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者 など 開催(配布)予定数＝第28回日本思春期学会学術集会 平成21年8 月28～30日

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
			2	第28回日本思春期学会学術集会 シンポジウム3「十代の望まない妊娠、どうして減った、どうしたら減らせる」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催(配布)予定数＝第28回日本思春期学会学術集会 平成21年8月28～30日
			6,7,8	第28回日本思春期学会学術集会 シンポジウム4「喫煙・飲酒・薬物乱用と思春期」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・教育関係者など 開催(配布)予定数＝第28回日本思春期学会学術集会 平成21年8月28～30日
社団法人 日本小児科学会	5,6,3	第3回子どもの食育を考えるフォーラム 目的・内容＝「給食を考える」をテーマに食育に関する公開フォーラム 対象者及び対象者数＝一般, 医師, 保健師, 栄養士, 他 開催数(配布数)＝平成21年1月24日, 東京 効果＝学校給食, 食物アレルギーをテーマにこどもの成長, 栄養に関する啓発活動を行った.	5,6,3	第4回子どもの食育を考えるフォーラム 目的・内容＝こどもの成長, 栄養に関する啓発活動 対象者及び対象者数＝一般, 医師, 保健師, 栄養士, 他 開催(配布)予定数＝1回開催
	1,2,3,4,6,7,8,9,10,12,14,47	第3回思春期医学臨床講習会 目的・内容＝思春期の子どもたちが必要とする医療を提供するため, 小児科医が思春期医学の知識や診療技能を学ぶ場とする 対象者及び対象者数＝小児科学会会員の医師 開催数(配布数)＝平成20年9月27～28日, 北海道札幌市 ポスター2,000枚 チラシ2,000枚 効果＝継続的希望者が多く今後も年に一回開催予定.	1,2,3,4,6,7,8,9,10,12,14,47	第4回思春期医学臨床講習会 目的・内容＝思春期の子どもたちが必要とする医療を提供するため, 小児科医が思春期医学の知識と診療技能を学ぶ場とする. 対象者及び対象者数＝小児科学会会員医師 参加費10,000円 開催(配布)予定数＝平成21年5月16日, 17日, 九州大学(福岡県福岡市) ポスター2000枚 チラシ2000枚

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
日本助産学会	2,3,9,10,14,15 ,17~27	研究助成 目的・内容＝わが国の助産学と母子保健の発展を図ることを目的に毎年学術奨励研究ならびに委託研究助成(各30万円、50万円)を行い、研究終了後、冊子を作成し、その成果を広く公表している。委託研究については「健やか親子21」の課題1、2に関連した研究課題について公募する。 対象者及び対象者数＝助産師(研究代表者は日本助産学会会員) 学術奨励研究助成 3件 委託研究助成 1件 開催数(配布数)＝1回 効果＝助産ケア、国際協力に関する研究に対し助成を行い、母子保健の向上に貢献することを目指した	2,3,9,10,14,1 5,17~27	研究助成 目的・内容＝わが国の助産学と母子保健の発展を図ることを目的に毎年学術奨励研究ならびに委託研究助成(各30万円、50万円)を行い、研究終了後、冊子を作成し、その成果を広く公表している。委託研究については「健やか親子21」の課題1、2に関連した研究課題について公募する。 対象者及び対象者数＝助産師(研究代表者は日本助産学会会員) 学術奨励研究助成2件、委託研究助成2件 開催(配布)予定数＝1回
	17~ 27,2,3,9,10,14 ,15	第23回日本助産学会学術集会 目的・内容＝＜メインテーマ＞「助産の質保証－信頼と絆－」 ＜学術集会長＞恵美須文枝氏(母子保健研修センター助産師学校2年コース) 特別講演、シンポジウム、フォーラム、公開講座、一般講演等を企画している。 対象者及び対象者数＝助産師、学生、一般 開催数(配布数)＝開催回数 1回 開催日：平成21年3月21日(土)・22日(日) 会場：タワーホール船堀(東京) 参加者：約900名 効果＝学術集会を通して、妊産褥婦及び新生児へのケア、助産師教育等に関して討議を行い母子保健の向上につながる検討ができた。	17~ 27,2,3,9,10,1 4,15	第24回日本助産学会学術集会 目的・内容＝＜メインテーマ＞「助産を育む」 ＜学術集会長＞加納尚美氏(茨城県立医療大学教授)特別講演、シンポジウム、フォーラム、公開講座、一般講演等を企画している。 対象者及び対象者数＝助産師、学生、一般 開催(配布)予定数＝開催回数 1回 開催日：平成22年3月20日(土)・21日(日) 会場：つくば国際会議場(茨城)
	2,3,9,10,14,15 ,17~27	日本助産学会誌 目的・内容＝1学会誌22巻1号 2学会誌22巻2号 対象者及び対象者数＝助産師、一般(日本助産学会会員)1690部 開催数(配布数)＝平成20年6月1800部発行 平成21年1月1700部発行 効果＝学会誌を通して会員への広報活動を行い、意識の向上につながった。	2,3,9,10,14,1 5,17~27	日本助産学会誌 目的・内容＝1学会誌23巻1号2学会誌23巻2号 対象者及び対象者数＝助産師、一般(日本助産学会会員)1750部 開催(配布)予定数＝平成21年6月1800部発行、平成21年12月1800部発行

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 - 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10,14,15,17~27	日本助産学会ニュースレター 目的・内容＝第56号、第57号、第58号 対象者及び対象者数＝助産師、一般（日本助産学会会員）1690部 開催数（配布数）＝平成20年6月1800部発行、平成20年9月1800部発行、平成21年1月1700部発行 効果＝ニュースレターを通して会員への広報活動を行い、意識の向上につなげた。	2,3,9,10,14,15,17~27	日本助産学会ニュースレター 目的・内容＝第59号、第60号、第61号 対象者及び対象者数＝助産師、一般（日本助産学会会員）1750部 開催（配布）予定数＝平成21年6月1800部発行、平成21年9月1800部発行、平成22年1月1800部発行
	2,3,9,10,14,15,17~27	「国際助産師の日」ポスター 目的・内容＝日本看護協会、日本助産師会、日本助産学会の3団体輪番制で制作 対象者及び対象者数＝助産師、（日本助産学会評議員、助産関連機関、省庁）149件 開催数（配布数）＝平成21年3月500部発行 効果＝ポスターによる助産師活動のアピール、推進を通じて、一般人にも母子保健向上に関心を持ってもらう。	2,3,9,10,14,15,17~27	「国際助産師の日」ポスター 目的・内容＝日本看護協会、日本助産師会、日本助産学会の3団体輪番制で制作 対象者及び対象者数＝助産師、（日本助産学会評議員、助産関連機関、省庁）149件 開催（配布）予定数＝平成22年3月500部発行
社団法人日本助産師会	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,15	無料電話相談事業の実施 目的・内容＝無料電話相談を実施し、思春期の対象者の悩み相談に応じた。 対象者及び対象者数＝思春期にある子どもたちを対象に実施。 1. 47都道府県においては子育て・女性健康支援センターにおいて毎日電話相談を実施。 2. 本部では毎週火曜日に実施。 開催数（配布数）＝1. 子育て・女性健康支援センター事業については集計中。 2. 本部実施分は、48日実施し、相談件数19件であった。 効果＝子育て・女性健康支援センター事業として思春期電話相談が定着してきており、学校への出張教育と合わせ地域での相談が効果的に実施できているところもある。	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,15	無料電話相談事業の実施 目的・内容＝無料電話相談を実施し、思春期の対象者の悩み相談に応じる。 対象者及び対象者数＝思春期にある子どもたちを対象に実施。 1. 47都道府県においては子育て・女性健康支援センターにおいて毎日電話相談を実施。 2. 本部では毎週火曜日に実施。 開催（配布）予定数＝1. 47都道府県においては子育て・女性健康支援センターにおいて実施。 2. 本部では毎週火曜日に実施。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 - 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取 り組み実績	21年度の取 り組みテーマ	21年度の取 り組み行動計画
	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,15	出張思春期教育の実施 目的・内容＝学校等からの依頼に応じて、助産師による出張思春期教育を実施した。 対象者及び対象者数＝小・中・高校生を対象に、1. 47都道府県においては子育て・女性健康支援センターから助産師を派遣し実施。 2. 本部依頼分は本部より思春期相談員を派遣し実施した。 開催数(配布数)＝1. 子育て・女性健康支援センター事業については集計中。 2. 本部実施分は、中学校延べ7校844名、高校延べ14校3069名であった。 効果＝思春期の出張教育に関する助産師への依頼が定着し、定期的を実施する学校等もある。行動変容等の効果は明らかではないが、対象の評価、学校側(教員)の評価は高い。	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,15	出張思春期教育の実施 目的・内容＝1. 学校等からの依頼に応じて、助産師による出張思春期教育を実施する。 2. 助産師が指導の際に使用する教材等を本部で作成し、提供する。 対象者及び対象者数＝小・中・高校生、その他を対象に依頼を受けて実施。 開催(配布)予定数＝1. 47都道府県において子育て・女性健康支援センターから助産師を派遣し実施。 2. 指導用教材を作成、ホームページ等で提供する。
	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,15	受胎調節実地指導員研修会(受胎調節実地指導員認定講習会)の開催 目的・内容＝受胎調節実地指導員の認定講習会を助産師対象に平成20年度より実施した。 対象者及び対象者数＝助産師13名受講 開催数(配布数)＝全5日間 平成20年9月27日・28日・10月3日・4日・5日 効果＝受胎調節実地指導員の認定者を養成することができた。	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,15	受胎調節実地指導員研修会の開催 目的・内容＝受胎調節実地指導員の認定講習会を助産師対象に本年度より実施。 対象者及び対象者数＝助産師60名 開催(配布)予定数＝全5日間の日程、平成21年9月18日～22日
	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,15	受胎調節実地指導員ステップアップ研修の実施 目的・内容＝低用量ピルや性感染症予防等最新の情報を盛り込んだ受胎調節実地指導員のステップアップ研修会を開催した。 対象者及び対象者数＝助産師8名受講 開催数(配布数)＝全6日間 平成20年10月25日・26日・11月22日・23日・12月6日・7日 効果＝受胎調節実地指導員にとって必要な最新の知識や手法を学習する機会を提供することができ、受講生の満足度は高かった	1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,15	受胎調節実地指導員ステップアップ研修の実施 目的・内容＝低用量ピルや性感染症予防等最新の情報を盛り込んだ受胎調節実地指導員のステップアップ研修会を開催する。 対象者及び対象者数＝助産師30名 開催(配布)予定数＝平成21年10月17日・18日

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 - 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテー	21年度の取り組み行動計画
日本性感染症学会	3	「性感染症 診断・治療 ガイドライン2008」 目的・内容＝2年ごとに改訂してきているガイドラインで、本年は特に耳鼻咽喉科、眼科関連の性感染症の項目を増やした。 対象者及び対象者数＝医療・保健関係者 開催数（配布数）＝当学会会員・賛助会員のほか、保健所設置自治体及び地方感染症研究所に寄贈予定 効果＝「性感染症に関する特定感染症予防指針」という学術団体としての責任の一端を担うこと。		
日本赤十字社	4,5,6,7,8	平成20年度青少年赤十字トレーニング・センター指導者養成講習会 目的・内容＝赤十字と青少年育成事業について理解し、各都道府県において青少年赤十字活動の指導・推進を行う指導者を育成する。プログラム中、青少年赤十字の資料である『健康安全プログラム』を使用した健康・安全についての指導方法伝達の時間を設け、同プログラムの一層の普及を図る。 対象者及び対象者数＝青少年赤十字指導者（青少年赤十字加盟校の教諭）39名 開催数（配布数）＝1回 効果＝自分や周囲の人が健康で安全な生活を送るために必要な知識とその伝達方法等についての知識と技術を習得することができた。	4,5,6,7,8	平成21年度青少年赤十字トレーニング・センター指導者養成講習会 目的・内容＝赤十字と青少年育成事業について理解し、各都道府県において青少年赤十字活動の指導・推進を行う指導者を育成する。プログラム中、青少年赤十字の資料である『健康安全プログラム』を使用した健康・安全についての指導方法伝達の時間を設け、同プログラムの一層の普及を図る。 対象者及び対象者数＝青少年赤十字指導者（青少年赤十字加盟校の教諭）約50名 開催（配布）予定数＝1回
	4,5,6,7,8	平成20年度青少年赤十字指導者中央講習会 目的・内容＝赤十字と青少年育成事業について理解し、各都道府県において青少年赤十字活動の指導・推進を行う指導者を育成する。プログラム中、青少年赤十字の資料である『健康安全プログラム』を使用した健康・安全についての指導方法伝達の時間を設け、同プログラムの一層の普及を図る。 対象者及び対象者数＝青少年赤十字指導者（青少年赤十字加盟校の教諭）28名 開催数（配布数）＝1回 効果＝自分や周囲の人が健康で安全な生活を送るために必要な知識とその伝達方法等についての知識と技術を習得することができた。	4,5,6,7,8	平成21年度青少年赤十字指導者中央講習会 目的・内容＝赤十字と青少年育成事業について理解し、各都道府県において青少年赤十字活動の指導・推進を行う指導者を育成する。プログラム中、青少年赤十字の資料である『健康安全プログラム』を使用した健康・安全についての指導方法伝達の時間を設け、同プログラムの一層の普及を図る。 対象者及び対象者数＝青少年赤十字指導者（青少年赤十字加盟校の教諭）約50名 開催（配布）予定数＝1回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 - 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	4,5,6,7,8,10	平成20年度青少年赤十字スタディー・センター 目的・内容＝研修プログラムの中に、食育、HIV/エイズの予防を含む健康・安全についての知識を伝達する。 対象者及び対象者数＝青少年赤十字メンバー（青少年赤十字加盟校の生徒）80名 開催数（配布数）＝1回 効果＝自分や周囲の人が健康で安全な生活を送るために必要な知識とその伝達方法等についての知識と技術を習得することができた。	4,5,6,7,8	平成21年度青少年赤十字スタディー・センター 目的・内容＝研修プログラムの中に、食育を含む健康・安全についての知識を伝達する。 対象者及び対象者数＝青少年赤十字メンバー（青少年赤十字加盟校の生徒）約90名 開催（配布）予定数＝1回
	4,5,6,7,8	各都道府県支部主催 メンバー対象講習会・研修会 指導者（教諭）対象講習会・研修会 目的・内容＝研修プログラムの中に、健康・安全についての知識や指導方法を伝達する時間を設け、同プログラムの一層の普及を図る。 対象者及び対象者数＝青少年赤十字メンバー（青少年赤十字加盟校の児童・生徒）と指導者（青少年赤十字加盟校の教諭）		各都道府県支部主催、メンバー対象講習会・研修会、指導者（教諭）対象講習会・研修会 目的・内容＝研修プログラムの中に、健康・安全についての知識や指導方法を伝達する時間を設け、同プログラムの一層の普及を図る。 対象者及び対象者数＝青少年赤十字メンバー（青少年赤十字加盟校の児童・生徒）と指導者（青少年赤十字加盟校の教諭）
	16	食育推進事業 目的・内容＝第3回食育推進全国大会（群馬県）への参加（出展） 対象者及び対象者数＝全国大会会場来場者 開催数（配布数）＝1回 効果＝保育所における食育活動について出展により具体的な内容を広く周知できた	16	食育推進事業 目的・内容＝第4回食育推進全国大会（島根県）への参加（出展） 対象者及び対象者数＝全国大会会場来場者 開催（配布）予定数＝1回
日本母性衛生学会	2,9	第49回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝会長講演「ジェンダーとピル」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 2000名 開催数（配布数）＝1回開催（千葉県） 効果＝ピルの歴史を女性のエンパワーメントと関連付けて報告し、ピルに関する知識の普及と今後を展望する一助となった。	4,5,15,16	第50回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝特別講演「女性の生涯を通じた健康」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 開催（配布）予定数＝1回開催（神奈川県）

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテー	21年度の取り組み行動計画
	4,5,7,8	第49回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝シンポジウム「生涯を通じた女性の健康」 1「Overview」2「胎児・新生児・乳幼児期」3「思春期」4「性成熟期」5「中 更年期」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄 養師・養護教諭・学生等 2000名 開催数(配布数)＝1回開催(千葉県) 効果＝女性のライフサイクル各期における健康問題と解決への取り 組み課題の提言により、今後を展望する一助となった。		
	2,3,9,10,4	第49回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝シンポジウム「日本人の性」 1「日本人の性意識・性行動」2「女性のセクシュアリティー婦人科診 療、特に性治療から見えてくるもの」3「男性のセクシュアリティーE Dを中心に～」4「男女のコミュニケーション」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄 養師・養護教諭・学生等 2000名 開催数(配布数)＝1回開催(千葉県) 効果＝日本人の性に関する現状と課題を女性、男性、男性と女性と の関係それぞれの視点から提示し、討議されたことで今後を展望する 一助となった。		
	2,3,9,10	第49回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝市民公開講座「性の健康教育最前線～親から子へどう 伝えるか」 1「産婦人科の現場から」2「メール相談で見る子どもの世界」3「知って 得する親の知識－ヒトパピローマウイルス(HPV)と子宮頸がん」4「浦 安市における性の健康教育」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄 養師・養護教諭・学生等 1000名 開催数(配布数)＝1回開催(千葉県) 効果＝性に関する個別相談の実際やHPVの情報提供に関する討議 が行われ、健康教育の方法を具体的に考える一助となった。		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	2.9	第49回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝モーニングセミナー「OCについて語ろう～あなたの悩みに答えます～」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 200名 開催数(配布数)＝1回開催(千葉県) 効果＝ピルの服用に関する知識を高めることができた。		
	2.9	第49回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝ランチョンセミナー「LNG-IUS(レボルゲストル放出子宮内避妊システム)と女性のQOL・女性の満足度」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 200名 開催数(配布数)＝1回開催(千葉県) 効果＝IUSの作用および使用方法に関する知識を高めることができた。		
	3.10	第49回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝ランチョンセミナー「HPVワクチンの展望－子宮頸がんは撲滅できる」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 200名 開催数(配布数)＝1回開催(千葉県) 効果＝性感染症としてのHPVウイルスに関する知識を普及することができた。		
	2.9	第49回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝ランチョンセミナー「緊急避妊ピルはわが国では受け入れられるのか：その障壁はなにか？」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 200名 開催数(配布数)＝1回開催(千葉県) 効果＝緊急避妊ピルの使用にあたっての現状と課題を考える一助となった。		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテー	21年度の取り組み行動計画
	13,15	第49回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝ランチョンセミナー「産婦人科の敷居をいかに低くすることができるか？－月経困難症を中心として－」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 200名 開催数(配布数)＝1回開催(千葉県) 効果＝思春期の健康教育の知識普及につながった		
	2,9	第49回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝ランチョンセミナー「It's a OC World～OC服薬指導に関するロールプレイ(演劇)～」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 200名 開催数(配布数)＝1回開催(千葉県) 効果＝OC服薬指導に関する具体的な支援方法を考えることができた。		
	2,9	第25回 岡山県母性衛生学会学術総会並びに学術集会 目的・内容＝ワークショップ「若年妊娠について」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 200名 開催数(配布数)＝1回開催(岡山県) 効果＝医師、助産師、行政、児童相談所のそれぞれの立場から、若年妊娠についての取り組みなどが検討された。		
	2,3,9,10	平成20年度千葉県母性衛生学会セミナー 目的・内容＝『認知行動科学に基づく新しい性教育』 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 200名 開催数(配布数)＝1回開催(千葉県) 効果＝性教育を認知行動科学から分析し、取り組むという新たな関わり方に関する情報提供の場となった。		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテー	21年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10	平成20年度山梨県母性衛生学会 研修会 目的・内容＝「避妊とSTI予防の研修」1近代的避妊方法および中絶に関する最新知識と日本における動向2低用量ピル服薬・処方の実際 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 200名 開催数(配布数)＝1回開催(山梨県) 効果＝避妊方法に関する最新の知識の普及につながった。		
社団法人 日本薬剤師会	6(薬物乱用防止),7(喫煙防止),8(飲酒防止)	「平成20年度全国学校薬剤師担当者会議」 「平成20年度全国学校薬剤師担当者講習会」 目的・内容＝学校薬剤師活動の取組推進 ・学校環境衛生 ・薬物乱用防止啓発(喫煙、飲酒防止を含む) ・医薬品適正使用啓発 ・スポーツファーマシスト活動 等 対象者及び対象者数＝学校薬剤師 開催数(配布数)＝各1回(H20年9月、21年3月) 効果＝学校薬剤師の資質向上、活動の充実	6(薬物乱用防止),7(喫煙防止),8(飲酒防止)	「平成21年度全国学校薬剤師担当者会議」 目的・内容＝学校薬剤師活動方針の実施に向けた周知、支援 ・医薬品適正使用啓発 ・薬物乱用防止啓発(喫煙、飲酒防止を含む) ・学校環境衛生 ・アンチ・ドーピング啓発 等 対象者及び対象者数＝学校薬剤師 開催(配布)予定数＝会議:1回
	6(薬物乱用防止)	「くすりの正しい使い方」啓発 目的・内容＝小学生向け／中学・高校・一般向け啓発資材の作成、啓発活動の実施 対象者及び対象者数＝小学生ならびに中学生・高校生・一般市民 開催数(配布数)＝各都道府県薬剤師会・地域薬剤師会等で実施 効果＝薬物乱用防止、生涯に亘る適正な医薬品使用への効果	6(薬物乱用防止),7(喫煙防止),8(飲酒防止)	「平成21年度学校薬剤師研修会」 目的・内容＝医薬品適正使用啓発 ・薬物乱用防止啓発(喫煙、飲酒防止を含む) ・学校環境衛生 ・アンチ・ドーピング啓発 等 対象者及び対象者数＝学校薬剤師 開催(配布)予定数＝研修会:全国8力所(8回)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 - 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	6(薬物乱用防止)	「薬と健康の週間」における事業 目的・内容＝医薬品の適正使用、薬物乱用防止をテーマに啓発事業、講習会等を各都道府県薬剤師会・地域薬剤師会等で実施 対象者及び対象者数＝一般市民 開催数(配布数)＝各都道府県薬剤師会・地域薬剤師会等で実施 効果＝一般市民へ医薬品の意義、薬物乱用の恐ろしさを啓発	6(薬物乱用防止)	リーフレット2種「くすりの正しい使い方」「薬物乱用防止」(名称は未定) 目的・内容＝医薬品適正使用啓発・薬物乱用防止啓発 対象者及び対象者数＝一般市民(対象を限定しない)
	6(薬物乱用防止)	スポーツファーマシスト活動 目的・内容＝日本アンチ・ドーピング機構(JADA)が実施する「スポーツファーマシスト認定制度」に協力 対象者及び対象者数＝都道府県薬剤師会の情報室に勤務する薬剤師を対象に特別講習会を開催。認定のための講習会等はJADAが実施 開催数(配布数)＝特別講習会：年1回 効果＝児童生徒の健康や選手生命の保持並びにスポーツの健全な発展	6(薬物乱用防止)	「薬と健康の週間」における事業 目的・内容＝医薬品の適正使用、薬物乱用防止等をテーマに啓発事業、講習会等を各都道府県薬剤師会・地域薬剤師会等で実施 対象者及び対象者数＝一般市民 開催(配布)予定数＝各都道府県薬剤師会・地域薬剤師会等で実施
社団法人 母子保健推進会議	15,16,18,19,28-35,50-55,63,66	「母子保健推進員研修会」・「母子歯科保健研修会」 目的・内容＝目的：市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：虐待予防と支援、子どもの発達と親子のかかわり、食育の推進、軽度発達障害の子どもの地域での支援、「生後4か月までの全戸訪問事業」、活動報告等。併設して、母子歯科保健をテーマにした研修を行なう。 対象者及び対象者数＝母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,540名 開催数(配布数)＝12回開催：山口県・佐賀県・富山県・長崎県・長野県・熊本県・鹿児島県・群馬県・福岡県・沖縄県・栃木県・豊田市 効果＝母子保健推進員の資質の向上と母推・保健師等の連携を深めることに寄与。母子歯科保健研修会は乳幼児期からの口腔、全身の健康への意識の向上へつながった。	15,16,19,30-35,39,40,43,44,50-58,60-63,66	全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会 目的：母子保健推進員の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつながることを目的とする。 内容：全国の母子保健推進員の活動報告 対象者及び対象者数＝厚生労働省母子保健課、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、関係団体代表等200名 開催(配布)予定数＝1回開催(静岡県)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテー	21年度の取り組み行動計画
	16,34,63	リーフレット「よく噛み 育てる ころとからだ」の制作・配付 目的・内容＝目的：乳幼児期からのむし歯予防の大切さと留意点を広く知らしめる。 内容：妊婦と乳幼児への口腔ケア、妊婦の歯周病と早産の関係など。 対象者及び対象者数＝市町村保健センター等 開催数（配布数）＝500,000部制作・配布 効果＝上記歯ブラシセットとともに配布等により、乳幼児期からのむし歯予防の啓発に活用された。	2,3,9,10,15,16,19,33,34,35,39,40,50-55,58,62,63,66	母子保健推進員研修会、母子歯科保健研修会 目的・内容＝目的：市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：虐待予防、子どもの生活リズム、親子のかかわり、子どもの事故予防、母子歯科保健、食育などをテーマに講演、活動報告。併せて乳幼児の口腔ケア等をテーマに母子歯科保健研修会を併設開催する。 対象者及び対象者数＝母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,150名程度 開催（配布）予定数＝12回開催（佐賀県・山口県・長野県・富山県・長崎県・熊本県・群馬県・鹿児島県・静岡県・白井市・沖縄県・栃木県）
	5,16,33,63	パンフレット「楽しく食べて元気な子～歯科からの食育メッセージ～」の制作・配布 目的・内容＝目的：歯科保健からの食育支援と乳幼児期の歯科保健指導。 内容：授乳・離乳の支援、食育の進め方、口腔の発達とむし歯予防、早寝早起き朝ごはん運動の推進など。B5判。24ページ 対象者及び対象者数＝歯科関係者、自治体母子歯科保健部門 開催数（配布数）＝各10,000部制作・配布 効果＝乳幼児期の「食」、その中で歯科の役割の大切さを正しく伝達する手段として、大いに活用された。	16,34,63	リーフレット「よく噛み 育てる ころとからだ」、パンフレット「楽しく食べて元気な子～歯科からの食育メッセージ」 目的・内容＝目的：母と子の歯科保健知識普及運動推進 内容：1歳6か月・3歳児健診等歯科指導用教材の配布、各年齢・月齢の特徴、留意点、歯みがきのポイント、離乳食、食育の進め方についてなどを解説。A5判4頁 対象者及び対象者数＝市町村保健センター等 開催（配布）予定数＝500,00部制作・配布

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 - 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	5,16,17- 19,30- 35,43,50- 56,60-63,66	<p>「地域母子保健福祉情報紙—母推さん—」の制作・発行 目的・内容＝目的：地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：厚生労働省、専門職、会員団体による情報提供、地域母子保健活動の実際、本会議主催研修会の報告など。 対象者及び対象者数＝都道府県・保健所・市町村・関係団体等へ毎月10,000部発行 開催数（配布数）＝12回（毎月1回1日発行） 効果＝行政、専門職からの情報、地域における母子保健活動の実際を広く掲載、毎号多くの反響が寄せられている。</p>	16,34,63	<p>歯科保健指導用パネル「食育と口腔の健康」(仮)シリーズ 目的・内容＝目的：口腔の健康は全身及び対象者の生活の質に係ることの知識と意識の向上を図る。 内容：「食育と歯科保健」シリーズA全判 対象者及び対象者数＝都道府県、政令市、市町村、各県歯科医師会関係 開催（配布）予定数＝9月完成予定</p>
	7,9,10,15,19,3 4,39,40,50- 55,58,62,63	<p>独立行政法人福祉医療機構(WAM)助成「母子保健推進員等の資質向上と組織育成事業」 目的・内容＝目的：市町村が実施する母子保健事業、母子保健推進員等の組織、及び活動の実態について調査することにより、母子保健推進員等の活動が認知され活性化することにより、安心して楽しく子育てができる地域づくりに寄与する。 内容：母子保健推進員等の組織及び活動実態調査（全国1811市町村母子保健担当課に調査票を送付）、母子保健推進員等を対象とした研修会、及び現地調査の実施（9箇所）、マニュアルの制作・配布（A4判96頁）、リーフレットの制作・配布（A5判変形）、報告書の制作（A4判80頁）など。 対象者及び対象者数＝母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等 開催数（配布数）＝実態調査：1377市町村より回答（76%）、研修会・現地調査：全国9箇所、マニュアルの制作・配布：2,000部、リーフレット：100,000部、報告書：200部 効果＝市町村における母子保健事業、乳児家庭訪問事業、母子保健推進等の組織と活動及び資質向上事業、充実していきべき方向性を示唆することができた。</p>	2,3,9,10,15,1 6,19,33- 35,40,50- 58,63,66	<p>「地域母子保健福祉情報紙—母推さん—」の発行 目的・内容＝目的：地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など。 対象者及び対象者数＝都道府県・保健所・市町村・関係団体等へ毎月10,000部発行 開催（配布）予定数＝12回（毎月1回発行）</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
			2,3,,9,10,15,1 9,34,39,40,50 -55,58,62,63	国際協力 目的・内容＝目的：日本の地域母子保健活動、及び母子保健推進員活動の経験を途上国へ伝え、対象国の母子保健水準の向上に寄与するとともに、日本の母子保健推進員が日頃の活動を客観的に見つめ直し、意識の高揚につなげる。 内容：国際協力機構（JICA）などに協力し、先駆的に母子保健推進員活動を展開する県に視察団の受け入れを依頼し、同県の母子保健推進員等との交流を図る。 対象者及び対象者数＝母子保健推進員、保健師 開催（配布）予定数＝3回（予定）6月、7月、11月
			2,3,9,15,16,3 3- 35,39,40,44,5 0- 55,58,63,66	母子保健推進員等の組織育成費の助成 目的・内容＝目的：母子保健推進員等の組織の育成・支援 内容：申請のあった都道府県、市町村母子保健推進協議会に対し組織育成費を助成。 対象者及び対象者数＝申請のあった都道府県母子保健推進協議会 開催（配布）予定数＝1回／年
			16,17- 19,34,35,39,5 0-55,58,60- 63	母子保健啓発教材の制作・頒布 目的：母子保健知識の普及、及び母子保健推進員活動の円滑な推進を図る。 内容：母子保健知識の普及に必要な教材、及び乳幼児を持つ家庭への訪問時に必要な教材等を制作し頒布する。 対象者及び対象者数＝市町村母子保健主管課 開催（配布）予定数＝随時

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテー	21年度の取り組み行動計画
			9,10,15,19,34 39,40,50- 55,58,62,63	独立行政法人福祉医療機構(WAM)助成「母子保健推進員等の資質向上と組織育成事業」 目的・内容＝目的：母子保健推進員等の組織育成と活動しやすい環境づくりの支援を行うことにより、母親の育児不安の軽減、虐待の防止につなげる。 内容：母子保健関係者研修会開催、訪問活動に有効な教材の制作・配布、ホームページの開設等 対象者及び対象者数＝母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等 開催（配布）予定数＝平成21年5月～22年3月
有限責任中間法人社団日本小児歯科学会	7,49,52,54,55,57,63,67	第46回日本小児歯科学会大会 目的・内容：メインテーマ「子どもたちの未来」－今私達に出来る何かを－ 特別講演「Saliva and Oral Health」Manitoba大学名誉教授 Colin Dawes先生 「子ども学」ChildScienceの目指すもの 東京大学名誉教授 小林登先生 教育講演「メッセル軟骨のふしぎ」明海大 天野修教授 「低身長症の診断と治療」埼玉県立小児医療センター 望月弘先生 シンポジウムⅠ「小児歯科専門医に求められるもの」 シンポジウムⅡ「小児歯科に必要な禁煙の知識」 シンポジウムⅢ日本学術会議協賛「子どもの健康づくりと食育」 対象者及び対象者数：日本小児歯科学会会員 開催（配布）数：年1回、平成20年6月12、13日 大宮ソニックシティー 小児歯科学雑誌約4500冊 効果：小児歯科学一般の知識獲得と小児歯科専門医の役割の明確化		
	14,49,52,55,56	第27回日本小児歯科学会中四国地方会 目的・内容：メインテーマ「心の問題を考える」 特別講演：「児童思春期に見られる精神疾患」徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部精神医学分野教授大森哲郎先生 教育講演：「歯科診療における臨床心理学」徳島大学大学院人間・自然環境研究科臨床心理学専攻准教授佐藤健二先生 開催（配布）数：平成20年11月9日 徳島大学長井記念ホール		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
日本学校保健学会	15	市民公開フォーラム「思春期が始まる頃の子どもの心と体を守ろう」 目的・内容＝思春期が始まる頃の子どもの心と体について各専門家から議論を行った。 対象者及び対象者数＝教育・保健関係者、PTA一般市民等 100名 開催数(配布数)＝第55回日本学校保健学会・市民公開フォーラム(愛知)、1回 効果＝思春期の子どもの心身について、それぞれの立場において認識を高めることができた。	6. 7. 8. 10	シンポジウム「青少年の危険行動防止とライフスキル教育」 目的・内容＝青少年の危険行動を防止するためのライフスキル教育について検討する 対象者及び対象者数＝教育・保健関係者 開催(配布)予定数＝第56回日本学校保健学会・市民公開講座(沖縄)、
財団法人 日本食生活協会	5,16,63	講習会「おやこの食育教室」 目的・内容＝食育の5つの力を中心に、家族と会話を楽しみながら食事を楽しむ中で、バランスのよい食べ方や、食事のマナーなど、適切な食育を身につけるために、食生活改善推進員が「おやこの食育教室」のパンフレットやレシピ集「わくわくクッキング」を使い、調理実習をしながら伝達講習をする。 対象者及び対象者数＝一般住民の親子60,000名 開催数(配布数)＝500回開催(全国46道府県、横浜市、大阪市、北九州市、川崎市) 効果＝食育に対する関心が深まり、料理をしたことがない子どもが料理に関心を持つことができた。	5,16,63	講習会「おやこの食育教室」 目的・内容＝食育の5つの力を中心に、家族と会話を楽しみながら食事を楽しむ中で、バランスのよい食べ方や、食事のマナーなど、適切な食育を身につけるために、食生活改善推進員が「おやこの食育教室」のパンフレットとレシピ集「わくわくクッキング」を使い、調理実習をしながら伝達講習をする。 対象者及び対象者数＝一般住民の親子60,000名 開催(配布)予定数＝1,000回開催(全国46道府県、横浜市、大阪市、北九州市、川崎市)
	5,16,63	1パンフレット「おやこの食育教室」 2レシピ集「わくわくクッキング」 目的・内容＝上記講習会用テキストとして作成。 対象者及び対象者数＝一般住民の親子 開催数(配布数)＝115,700部210,000部	5,16,63	1パンフレット「おやこの食育教室」 2レシピ集「わくわくクッキング」 目的・内容＝上記講習会用テキストとして作成。 対象者及び対象者数＝一般住民の親子 開催(配布)予定数＝160,000部210,000部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 - 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテー	21年度の取り組み行動計画
	5,16,63	講習会「スポーツ(サッカー)少年と食育事業」 目的・内容＝全国でサッカー、野球などのスポーツ活動が学校単位で盛んに行われていることから、参加する子どもと応援に来ている保護者を対象に、食生活改善推進員が「スポーツと食育」をテーマにした下敷きを使い伝達講習をする。 対象者及び対象者数＝スポーツ少年とその応援に来ている父兄 14,700名 開催数(配布数)＝300回開催(全国46道府県、横浜市、大阪市、北九州市) 効果＝スポーツする上で、規則正しい生活が大切ということを伝えることができた。	5,16,63	講習会「スポーツ(サッカー)少年と食育事業」 目的・内容＝全国でサッカー、野球などのスポーツ活動が学校単位で盛んに行われていることから、参加する子どもと応援に来ている父兄を対象に、食生活改善推進員が「スポーツと食育」をテーマにした下敷きを使い伝達講習をする。 対象者及び対象者数＝スポーツ少年とその応援に来ている父兄 15,000名 開催(配布)予定数＝300回開催(全国46道府県、横浜市、大阪市、北九州市、川崎市)
	5,16,63	下敷き「スポーツ(サッカー)少年と食育」 目的・内容＝上記講習会用テキストとして作成。 対象者及び対象者数＝スポーツ少年とその応援に来ている父兄 開催数(配布数)＝14,700部	5,16,63	下敷き「スポーツ(サッカー)少年と食育」 目的・内容＝上記講習会用テキストとして作成。 対象者及び対象者数＝スポーツ少年とその応援に来ている父兄 開催(配布)予定数＝15,000部
	5,16,63	冊子「子どもの食生活」 目的・内容＝小児期の孤(個)食、肥満とやせ、朝食欠食を含む生活リズムの乱れ等の問題をテーマに作成。 対象者及び対象者数＝小、中学生 開催数(配布数)＝5,000部	5,16,63	冊子「子どもの食生活」 目的・内容＝小児期の孤(個)食、肥満とやせ、朝食欠食を含む生活リズムの乱れ等の問題をテーマに作成。 対象者及び対象者数＝小、中学生 開催(配布)予定数＝5,000部
性と健康を考える女性専門家の会	16	総会講演会「食べることは生きることーNPOの実践現場から」 目的・内容＝生産者の立場からの食育の実践を伝える。 対象者及び対象者数＝女性の健康に関心がある方、保健、医療、教育関係者 約100名 開催数(配布数)＝1回 効果＝実践者と医療関係者との連携を深めるきっかけになった	2.3.7.9.10.18. 24.50.51.	総会シンポジウム「ウィメンズヘルスを担う～看護職との協働」 目的・内容＝女性の健康、周産期の母子の健康を守るために、看護職と保健医療福祉職がどのように連携すればよいか、実践例を基に考える 対象者及び対象者数＝女性の健康に関心がある方、保健、医療、教育、福祉関係者 約100名 開催(配布)予定数＝1回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテー	21年度の取り組み行動計画
	2.3.4.7.9.10.2 1.52	総会リレーセミナー「知っておきたい女性とたばこの最新情報」「性感 染症を防ぐために教師や生徒ができること」「ティーンズの生理&から だ&ココロ」「女性のためのヘルシー・キャリア」「障害を個性と考え、 個性豊かな健康対策を」 目的・内容＝当会の各プロジェクトの活動を紹介し、最新の知識を提 供する。 対象者及び対象者数＝女性の健康に関心がある方、保健、医療、教 育関係者 約100名 開催数(配布数)＝1回 効果＝活動について情報を提供し、各自の交流を深めた。最新の情 報を得る機会になった。		
	3,10	シンポジウム「女性の健康とHPV」 目的・内容＝子宮頸がんとHPVについての最新知識を提供し、先進 国の取り組みを紹介することを通じて今後の対策を考える。 対象者及び対象者数＝女性の健康に関心がある方、保健、医療、教 育関係者 約150名 開催数(配布数)＝1回 効果＝わが国の課題、政府への働きかけなどを議論することができ た。		
	3.7.9.10.52.54	北海道支部「女性のための心とからだの健康屋台村」ミニセミナー「タ バコをやめよう！の話」「子宮頸がんとHPV対策」「更年期!?のからだ とココロ」「ママはセンパイ(母と娘の健康教室)」ベリーダンス、ハンド ケア等の体験コーナー各種 目的・内容＝女性の健康に関する最新の情報提供。代替医療、セル フケアの体験。 対象者及び対象者数＝女性の健康に関心がある方、保健、医療、教 育関係者 110名 開催数(配布数)＝1回 効果＝参加型の催しで楽しく、学習、体験することができた。		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテー	21年度の取り組み行動計画
	すべて	Women's Health and Sexuality ニュースレターの発行 目的・内容＝会員に女性の健康、性の健康に関する情報、当会の活動、会員の活動を知らせる。 対象者及び対象者数＝会員 約500名 開催数(配布数)＝3回/年 効果＝催しに参加できない地方会員への情報伝達、会員の近況、書籍の紹介など女性の健康に関する多面的な情報収集ができる。		
(社)日本女医会	2,3,9,10,13	研修会「十代の性の健康」支援ネットワーク作り 目的・内容＝医療の専門家の立場から全国の支部会員を通じ、それぞれの地域に密着して、自治体や諸組織と連携し地域の子育て支援ネットワークを構築してゆく 対象者及び対象者数＝医師、保健行政担当者、教育委員会、養護教諭、保護者等 開催数(配布数)＝1回(東京新宿区1回) 効果＝時間がなく報告会になった。支援体制の横のつながりを築くための一歩となった。	2,3,9,10,13	報告会「十代の性の健康」支援ネットワーク作り 目的・内容＝医療の専門家の立場から全国の支部会員を通じ、それぞれの地域に密着して、自治体や諸組織と連携し地域の子育て支援ネットワークを構築してゆく。 対象者及び対象者数＝医師、保健行政担当者、教育委員会、養護教諭、保護者等 開催(配布)予定数＝報告会1回(東京都内) ポスター2,000枚
日本泌尿器科学会	3,9,10	第4回思春期性教育・性感染症研究会の開催。 目的・内容＝全国の思春期性教育・性感染症予防に取り組む医師等が情報交換し、より良い活動に向け討議した。 対象者及び対象者数＝泌尿器科医、婦人科医、公衆衛生関係など約50名。 開催数(配布数)＝平成20年4月に横浜市で開催。 効果＝思春期性教育・性感染症予防に取り組む医師等に有用な情報が提供された。	3, 9, 10	第5回思春期性教育・性感染症研究会の開催。 目的・内容＝全国の思春期性教育・性感染症予防に取り組む医師等が情報交換し、より良い活動に向け討議した。 対象者及び対象者数＝泌尿器科医、婦人科医、公衆衛生関係など約50名。 開催(配布)予定数＝平成21年4月に岡山市で開催。
	3,9,10	思春期性教育・性感染症研究会編の教育用DVDの作成、および更新。 目的・内容＝全国の思春期性教育・性感染症予防に取り組む医師等に配布し、教育現場での教材とする。 対象者及び対象者数＝泌尿器科医、婦人科医、公衆衛生関係など約50名 開催数(配布数)＝約50部配布。 効果＝思春期性教育・性感染症予防に取り組む医師等に有用な教材が提供された。	3, 9, 10	思春期性教育・性感染症研究会編の教育用DVDの作成、および更新。 目的・内容＝全国の思春期性教育・性感染症予防に取り組む医師等に配布し、教育現場での教材とする。 対象者及び対象者数＝泌尿器科医、婦人科医、公衆衛生関係など約50名。 開催(配布)予定数＝約50部配布。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 - 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	5,15,16,18,19,28-35,50-55,63,66	<p>「母子保健推進員研修会」の後援 目的・内容＝目的：母子保健推進会議と開催県が共催する同研修会に後援し、市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図ることを目的とする。 内容：虐待予防と支援、子どもの発達と親と子のかかわり、母子歯科保健、食育の推進、「生後4か月までの全戸訪問事業」、早産予防、授乳・離乳の支援、活動報告等 対象者及び対象者数＝母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,540名 開催数(配布数)＝12回開催：山口県・佐賀県・富山県・長崎県・長野県・熊本県・鹿児島県・群馬県・福岡県・沖縄県・栃木県・豊田市 効果＝母子保健推進員の資質の向上と他市町村の母子保健推進員・保健師等の連携を深めることに寄与。当研修会で学んだこと、得た情報は、日々の活動に即、役立てられている。</p>	15,16,18,19,31-35,43,44,50-58,60-63,66	<p>「全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会・意見交換会」の開催 目的：母子保健推進員の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつながることを目的とする。 内容：全国の母子保健推進員の活動報告 対象者及び対象者数＝厚生労働省母子保健課、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、関係団体代表等200名 開催(配布)予定数＝1回開催(静岡県)</p>
	5,16,17-19,30-35,43,44,50-56,60-63,66	<p>「地域母子保健福祉情報紙—母推さん—」制作への協力 目的・内容＝目的：母子保健推進会議発行の同紙制作に協力、地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：厚生労働省、専門職、会員団体による情報提供、地域母子保健活動の実際、本会議主催研修会の報告など。 対象者及び対象者数＝都道府県・保健所・市町村・関係団体母子保健主管課へ毎月10,000部発行 開催数(配布数)＝12回(毎月1回1日発行) 効果＝行政、専門職からの情報、地域における母子保健活動の実際を広く掲載し、母子保健推進員等の学習、情報収集のツールとして日々の活動に役立てられている。</p>	5,15,16,18,19,31-35,50-58,60-63,66	<p>「母子保健推進員研修会」「母子歯科保健研修会」への後援 目的・内容＝目的：市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：虐待予防、子どもの生活リズム、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマに講演、シンポジウム、活動報告。併設して開催の乳幼児の発達と口腔ケア等をテーマの母子歯科保健研修会を後援 対象者及び対象者数＝母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,150名程度 開催(配布)予定数＝12回開催(佐賀県・山口県・長野県・富山県・長崎県・熊本県・群馬県・鹿児島県・静岡県・白井市・沖縄県・栃木県)</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテー	21年度の取り組み行動計画
	7,9,10,15,17-19,28-32,43,44,50-55,61	海外からの視察団の受け入れ 目的・内容＝目的：地域母子保健活動、及び母子保健推進員活動の途上国への普及、ならびに母子保健推進員等の意識の高揚を図る。 内容：国際協力機構、(社)母子保健推進会議に協力し視察団を受け入れ、母推活動を紹介するとともに交流を図った。 対象者及び対象者数＝リプロヘルス指導者セミナー：山口県、BCCセミナー：沖縄県、母推：和歌山県 開催数(配布数)＝3回 効果＝主に途上国の母子保健関係者に母推活動を紹介、母推が発足した国もある。日本の母推も日頃の活動を客観的に見直す機会となり意識の高揚に繋がった。	5,16,17-19,30-35,43,44,50-56,60-63,66	「地域母子保健福祉情報紙—母推さん—」制作への協力 目的・内容＝目的：母子保健推進会議が発行する同紙の制作に協力し、地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声などを掲載。 対象者及び対象者数＝都道府県・保健所・市町村・関係団体等へ月10,000部発行 開催(配布)予定数＝12回(毎月1回1日発行)
			15,16,17-19,28-32,43,44,50-55,61	海外からの視察団の受け入れ・交流 目的・内容＝目的：日本の地域母子保健活動、及び母子保健推進員活動の経験を途上国へ伝え、対象国の母子保健水準の向上に寄与するとともに、日本の母子保健推進員等が日頃の活動を客観的に見詰め直し、意識の高揚につなげる。 内容：国際協力機構、(社)母子保健推進会議に協力し視察団を受け入れ、母子保健事業ならびに母子保健推進員活動の実際を紹介すると同時に、視察団と各県母子保健推進員等との交流を図る。 対象者及び対象者数＝中米からの視察団等 開催(配布)予定数＝6月、7月ほか
財団法人 日本性教育協会	2,3,9,10,11,15	「性教育実践のための指導者講習会」 目的・内容＝学校における性教育活性化のための指導者を育成する。 対象者及び対象者数＝教師、学校保健関係者、教育委員会関係者100名 開催数(配布数)＝2回開催(千葉県、大阪府) 効果＝学校教育において性に関わる指導の重要性の認識を高めることができた。	2,3,9,10,11,15	「性教育実践のための指導者講習会」 目的・内容＝学校における性教育活性化のための指導者を育成する。 対象者及び対象者数＝教師、学校保健関係者、教育委員会関係者 開催(配布)予定数＝2回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテー	21年度の取り組み行動計画
	9,10,11,15	「JASE関西性教育研修セミナー」 目的・内容＝性教育の考え方や取り組み方を伝えると同時に、その基本にある「性の健康」の重要性を認識する。 対象者及び対象者数＝教師、助産師、保健師、心理・福祉関係者50名 開催数（配布数）＝2回（2回とも大阪府） 効果＝性教育に関わる者として、性の多様性を知ると同時に、「性の健康」の重要性を伝えることができた。	2,3,9,10,11,15	「JASE関西性教育研修セミナー」 目的・内容＝学性教育の考え方や取り組み方を伝える。 対象者及び対象者数＝教師、助産師、保健師、心理・福祉関係者 開催（配布）予定数＝2回
	2,3,9,10,11,15	「全国性教育研究大会」（協賛事業） 目的・内容＝学校における性教育の指導内容を見直し、性教育を活性化させる。 対象者及び対象者数＝教師、学校保健関係者、教育委員会関係者600名 開催数（配布数）＝1回（岡山県） 効果＝学校における性教育の指導内容を詳しく伝えることができた		「全国性教育研究大会」（協賛事業） 目的・内容＝学校における性教育の指導内容を見直し、性教育を活性化させる。 対象者及び対象者数＝教師、学校保健関係者、教育委員会関係者 開催（配布）予定数＝1回
財団法人 健康・体力づくり事業財団	5	パンフレット「親子でスクラム」の配布 目的・内容＝児童・生徒を対象に生活習慣病に対する認知度を高め、親については親子間で協力して予防に努めることを啓発 対象者及び対象者数＝一般 開催数（配布数）＝90,000部 効果＝親、子それぞれの立場において認知度を高めることができた。	5	パンフレット「メタボリックシンドロームは内臓脂肪から始まります」増刷 目的・内容＝子どもの時代からバランスのよい食事と運動をし、家族で内臓脂肪をためないように生活をするよう啓発する。 対象者及び対象者数＝一般 開催（配布）予定数＝100,000部
	5	パンフレット「メタボリックシンドロームは内臓脂肪から始まります」の配布 目的・内容＝子どもの時代からバランスのよい食事と運動をし、家族で内臓脂肪をためないように生活することを啓発 対象者及び対象者数＝一般 開催数（配布数）＝140,000部 効果＝親、子それぞれの立場において認知度を高めることができた。	5	パンフレット「親子でスクラム」増刷 目的・内容＝児童・生徒を対象に生活習慣病に対する認知度を高め、親については親子間で協力して予防に努めるよう啓発する。 対象者及び対象者数＝一般 開催（配布）予定数＝100,000部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 - 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進 -

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	5,54	エクササイズでコミュニケーション(DVD)作成 目的・内容＝親子でできる体操など楽しく健康づくりを進めるための運動の普及を図るためにDVDを作成。 対象者及び対象者数＝一般 開催数(配布数)＝8, 600枚 効果＝全国の自治体に配布することにより、地域での健康づくり活動の推進に寄与することができた。	5	「生活習慣病予防」キャンペーン2009 目的・内容＝流通店舗で実施する啓発イベント。来店客(親子含む)に対して、生活習慣病予防への意識を高めるよう、展示や測定、試食やサンプリングを実施。 対象者及び対象者数＝一般 開催(配布)予定数＝一般
	5	生活習慣病予防キャンペーン2009 目的・内容＝流通店舗で実施した啓発イベント。来店客(親子含む)に対して、生活習慣病予防への意識を高めるよう、展示や測定、試食やサンプリングを実施。 対象者及び対象者数＝一般、11, 393人(延人数) 開催数(配布数)＝4会場8日間(茨城県、埼玉県、群馬県、神奈川県) 効果＝生活習慣病への認知度を高めることができた。	5	「医師たちとみんなで歩こう！健康日本21推進フェスタ2009」 目的・内容＝家族を含めた広範な市民参加者が医療関係者と一緒に歩く「ウォーキング」。また啓発イベントとして「生活習慣予防フェア」を同会場で健康チェック・相談を実施し、健康づくりを啓発する。 対象者及び対象者数＝一般 開催(配布)予定数＝一般
U-COM(JFPA若者委員会)	2,3,9,10	ユーコム・コンドーム配布 目的・内容＝望まない妊娠を避け、性感染症を防ぎ、性の自己決定力を高めるためのキャンペーン用のコンドームを継続制作し、学園祭等で配布した。また、全国の若者達が学園祭やエイズ予防のイベント等でこのコンドームを使用する目的で、無料で提供した。 対象者及び対象者数＝全国の若者、保健師、助産師、看護師、養護教諭、教職員等 開催数(配布数)＝20,450個 効果＝活用により思春期保健に寄与した	2,3,9,10	ユーコム・コンドーム配布 目的・内容＝望まない妊娠を避け、性感染症を防ぎ、性の自己決定力を高めるためのキャンペーン用のコンドームを継続制作し、学園祭等で配布した。また、全国の若者達が学園祭やエイズ予防のイベント等でこのコンドームを使用する目的で、無料で提供した。 対象者及び対象者数＝全国の若者、保健師、助産師、看護師、養護教諭、教職員等 開催(配布)予定数＝20,000個
	2,3,9,10	ピアポルト(ピアは仲間、ポルトとは港の意) 目的・内容＝若者が気軽に立ち寄って相談や情報収集ができる場として、毎月第二土曜日13時～17時に保健会館新館一階にて「開港」 対象者及び対象者数＝全国の若者、保健師、助産師、看護師、養護教諭、教職員等思春期保健に携わる専門職 開催数(配布数)＝2008年7月より開港9回 効果＝場の提供により思春期保健に寄与した	2,3,9,10	ピアポルト(ピアは仲間、ポルトとは港の意) 目的・内容＝若者が気軽に立ち寄って相談や情報収集ができる場として、毎月第二土曜日13時～17時に保健会館新館一階にて「開港」 対象者及び対象者数＝全国の若者、保健師、助産師、看護師、養護教諭、教職員等思春期保健に携わる専門職 開催(配布)予定数＝12回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題1）
 -思春期の保健対策の強化と健康教育の推進-

団体名	20年度の取 り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取 り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10	第一回ピアカウンセラー養成講座 目的・内容＝ピア活動を行っている若者がピアカウンセリングのスキルと、性に関する正しい情報や知識を学び、ピアカウンセリング手法を用いた性教育や相談活動が行えるようになることを目的に開催 対象者及び対象者数＝全国の若者 開催数(配布数)＝東京都にて4日間16名 効果＝ピアカウンセラーとなるべく、手法・技法を基礎から実践まで幅広く学べた。	2,3,9,10	第二回ピアカウンセラー養成講座 目的・内容＝ピア活動を行っている若者がピアカウンセリングのスキルと、性に関する正しい情報や知識を学び、ピアカウンセリング手法を用いた性教育や相談活動が行えるようになることを目的に開催 対象者及び対象者数＝全国の若者 開催(配布)予定数＝東京都にて4日間15名